

令和2年度
佐世保市立図書館事業報告

佐世保市立図書館

令和2年度 事業報告

(令和2年度概況)

図書館は、市民の自主的な学習を支援し、課題を解決する地域の情報拠点、次世代を担う子どもたちをはじめとするすべての市民の豊かな読書活動の拠点としての取組みを推進するとともに、市民に親しまれ、人が交流する拠点施設としての役割を担っております。

このことを踏まえ、佐世保市立図書館は、令和2年3月に「佐世保市立図書館運営方針」を策定し、『知に出会い、人が集い、学べる図書館～市民とともに育つ図書館～』を基本理念として掲げ、「佐世保市教育振興基本計画（第3期）」においても、教育施策の「生涯学習・生涯スポーツの充実」を担う様々な取組みを推進しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による国の緊急事態宣言が全都道府県に拡大されたことを受け、令和2年4月18日（日）から4月26日（日）まで図書館を全面利用禁止とし、臨時窓口を設置して事前予約制による貸出を実施しました。また、4月27日（月）から5月11日（月）まで、臨時窓口を閉鎖し、臨時（完全）休館としました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、おはなし会、英語イベント、雑誌のリサイクル市、各種講座等、多くの事業を中止せざるを得ませんでした。ビブリオバトルや読み語り講座をオンラインで開催するなど、新たな取組みも行いました。

子どもの読書活動推進については、新型コロナウイルス感染症対策による大きな影響がありましたが、「第三次佐世保市子ども読書プラン」に基づき、子どもたちが年齢に応じた本と触れ合うことによって、本の楽しさを発見し、身近に読書に親しめるよう、また、子どもたちが主体的に情報を選択し、自分の考えをまとめ、人に伝えることができるよう、ブックスタート、学校等支援、図書館を使った調べる学習コンクールなど、様々な取組みを行いました。

年間利用者数や貸出冊数については、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館や図書館3階（学習室、視聴覚室等）・4階（会議室、飲食コーナー等）の閉鎖、外出自粛などの影響を受け、令和元年度と比較してそれぞれ14万4千人余、21万3千冊余の減となりましたが、インターネットでの蔵書検索利用件数については、令和2年9月1日からサービスを開始した蔵書検索ウェブサイト「さぼんサーチ」とコロナ禍でのおうち時間の増加が相まって、令和元年度と比較して約10万件の増となりました。

■主な利用実績

項目	令和元年度	令和2年度	増減
年間利用者数	364,347人	219,667人	▲144,680人
貸出者数（延数）	246,598人	185,429人	▲61,169人
貸出冊数	1,030,064冊	816,489冊	▲213,575冊
インターネット蔵書 検索利用件数	674,483件	774,681件	100,198件

主要事業

(1) 一般室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
ビブリオバトル	9月22日(火祝) 11月23日(月祝) 2月23日(火祝) 図書館A会議室	Web会議システム Zoomによるオンライン開催。	29人
上映会	毎週水曜日(18回開催) 視聴覚室	新型コロナウイルス感染対策として、金曜日の上映会を中止し、水曜日のみ開催した。入口に消毒液を設置、鑑賞に際してのお願いを掲示、新しい鑑賞方法を採用し、鑑賞者にも受け入れられた。	187人 平均10人
特別上映会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館活用講座		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

(2) 児童室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
おはなし会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
おたのしみ会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
ちいさい子向けおはなし会「とことことこ」		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
赤ちゃん向けおはなし会「いないいないばあ」	毎週木曜日(19回開催) おはなしのへや 児童室中央フロア 中2階	絵本の読み語りや手遊び、パネルシアターなどを行った。 佐世保市の新型コロナウイルス感染レベルに応じて人数制限や、場所を変更して行った。	322人 平均16人
ブックスタート	4ヶ月児健診日(44回実施) 中央保健福祉センター	4ヶ月児健診会場において、ブックスタートパック(絵本やおすすめ絵本リストなど)を渡し、図書館のご案内を行った。	1,751人 平均39人

	東部保健福祉センター 江迎支所 小佐々支所 宇久保健福祉センター		
第4回図書館を使った調べる学習コンクール	7月～9月 市内小学校・義務教育学校に通学する児童	コンクールを開催し、市内全小学校へポスター、チラシを作成・配布し募集を行った。	応募作品 33点
図書館を使った調べる学習講座	8月1日(土) 8月2日(日) 8月10日(月祝) 8月16日(日) 視聴覚室	百科事典や図鑑の使い方、調べるテーマの決め方などについて講座を行った。	低学年8人 中学年14人 高学年7人
読み語り初級講座	3月20日(土祝) 視聴覚室	オンライン会議システム zoom を使用し、絵本の読み方、選び方などの講座を開催した。(定員20名)	7人
みつけて！クリスマス	12月19日(土) 12月20日(日) 児童室	初級編(小さい子向け)と上級編(小学生向け)の2種類のクイズを行った。	89人
学校等支援	通年	授業支援のための資料貸出、ブックトークやおはなし会等を行った。	647件
読書週間イベント「本の中のすてきなことば」・「おすすめカード」	10月27日(火)～ 11月8日(日) 児童室	本の中の「すてきなことば」を展示した。利用者が薦めたい本について「おすすめカード」を記入してもらい、本とともに展示した。	204人
読書週間特別講演会「伊藤明美氏講演会」	11月1日(日) 視聴覚室	ストーリーテリングの実践とテキストの選び方・子どもに昔話を届ける意義についてご講義いただいた。 佐世保市の新型コロナウイルス感染レベルに応じて参加者数の調整を行った。	40人

(3) 郷土資料室

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
夏休み郷土学習教室	8月8日(土) 世知原炭鉱資料館・倉渕橋	児童をはじめとした参加者に対し、郷土史跡の現地解説を行った。	19人
児童・生徒の郷土研究発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
郷土研究所の公開発表会		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
古文書解読講座		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
市民ギャラリー展示会	通年中2階市民ギャラリー展示会コーナー	芸術文化活動などの発表の場として、絵画等の展示を行った。	14回実施

(4) 移動図書館

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
はまゆう号巡回	通年 個人貸出 29箇所 団体貸出 49箇所	新型コロナウイルス感染レベル4以上は運休	巡回日数 160日

(5) 共通

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
第5回図書館まつり		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
英語 de 図書館		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
図書館 de L I V E		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
リサイクル市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

図書館探検ツア ー		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
--------------	--	----------------------	--

(6) 西九州させぼ広域都市圏事業

事業名	実施日・会場等	実施状況	参加人数等
利用者登録・貸出	通年	佐世保市と連携市町相互間で利用者登録・貸出を行った。(佐世保市・松浦市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・小値賀町)	有効登録者数 533 人。 のべ貸出者数 2,221 人。 貸出冊数 9,066 冊。
配送サービス	毎月 2 回 (24 回実施)	地元図書館での本の返却サービスと連携市町図書館相互間での貸出・返却資料の配送サービスを行った。(佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々町・川棚町・波佐見町・東彼杵町・有田町)	711 冊 平均 30 冊
図書館相互レベルアップ事業 児童文学作家くすのきしげのりさん講演会	10 月 11 日 (日) 山澄地区コミュニティセンター 講堂	連携市町の図書館職員、利用者等を対象とした講演会、研修会等を実施するもの。(佐世保市・松浦市・伊万里市・佐々町・波佐見町) 「子どもたちに生きる力としての読書のよろこびを」を講演テーマとし、作品に込められた思いから子育て・生き方に対する考え方までご講演いただいた。 収容人数制限の関係から、会場を図書館から変更。(定員 80 名)	51 人

■事業評価

令和 2 年度は、コロナ禍においてやむなく臨時休館をしましたが、感染レベル毎に新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、図書館サービスの提供やイベントを行いました。

コロナ禍ためサービスの縮減やイベントの中止などの影響で、来館者は前年比 4 割減の約 2 2 万人となりましたが、外出を控えて家で過ごす時間が増えたこともあり、貸出冊数は 2 割減の約 8 1 7 千冊でした。感染レベル毎の対応についてホームページ・フェイスブックや館内放送等で、ご理解とご協力をお願いしたため、特に混乱することなくサービスの提供を継続することができました。

また、おはなし会やイベントにおいては、コロナ禍でもできるだけ多くの方に安全に安心して参加していただけるように、オンラインでの開催や場所や回数を検討したり、人数制限や予約制にしたりして開催しましたが、参加者のアンケート結果では満足度も高く、目的は達成できました。

さらに、蔵書検索サービス「さぼんサーチ」のサービスを開始し、利用者と図書館職員の利便性が格段に向上しました。

今後は引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、社会の変化に柔軟に対応しつつ、オンラインの活用や電子図書館といった非来館型のサービスの拡大など、コロナ禍におけるサービスのあり方をさらに検討していく必要があります。

以 上